

形成計画に位置付けられた事業の実施について

令和2年度の取組（案）

【計画期間】

令和2年度～令和6年度

利用しよう!
公共交通

【目指す将来像】 市民の暮らしを支える利用しやすい交通ネットワーク!

あらゆる移動手段が一体となった総合的な交通体系により、萩市の都市部から中山間地域や離島まで、萩市のどこに住んでいても、市民が自宅から目的地まで移動することができる利用しやすい交通ネットワークを構築します。

基本方針1

市民の日常生活を支える生活交通網の構築

- (1) 利用しやすい公共交通網の構築
- (2) 高齢者が利用しやすい環境整備
- (3) 通学環境の維持・確保
- (4) 待合環境及び乗継環境の向上



令和2年度の取組(案)

- バス路線の廃止に伴う交通ネットワークの再構築
 - ・田万川、むつみ、須佐地域で生活バスを運行（通学時間帯等に配慮）
 - ・木間地区の乗合タクシー事業を支援
- 萩循環まあるバスの運行ルートの検討
- 高齢者が利用しやすい運賃の助成
- 高齢者が利用しやすい電動ステップ付車両の導入（生活バス、ぐるっとバス）
- 待合所、ベンチ等の状況調査
- 接続が分かりやすい時刻表の作成
- バリアフリーに対応した相島新船を萩海運が建造

基本方針3

行政・市民・交通事業者等の連携・協働による、持続可能な公共交通の維持・確保

- (1) 地域コミュニティ交通の確保と取り組みに対する支援
- (2) 運転手の確保対策
- (3) 分かりやすい公共交通情報の提供と利用促進



令和2年度の取組(案)

- （再掲）山間部等の交通手段が少ない地域において、自家用有償旅客運送の登録を目指したモデル事業を支援
- 移住・定住者向けの萩暮らし応援サイト等の活用
- （再掲）接続が分かりやすい時刻表の作成
- 萩循環まあるバスの時刻表やバス停位置情報のオープンデータ化による経路検索サービスとの連動



基本方針2

多様な公共交通の組み合わせによる、より効果的な交通網の再構築

- (1) 幹線と支線の役割分担の明確化と交通結節機能の強化
- (2) 利用ニーズに応じた多様な公共交通網の構築
- (3) 旧市町村区域を越えた総合的な交通体系の構築

令和2年度の取組(案)

- （再掲）萩循環まあるバスの運行ルートの検討（鉄道、航路との接続向上）
- 鉄道、幹線バスとの結節に配慮した生活バスの運行
- 地域の交通体系や利用促進について、地区住民との話し合いを実施
- 山間部等の交通手段が少ない地域において、自家用有償旅客運送の登録を目指したモデル事業を支援
- 田万川、須佐地域の移動ニーズに配慮した生活バスの運行

基本方針4

豊かな暮らしと観光交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

- (1) まちづくり施策と連携した公共交通の連携推進
- (2) 観光施策と連携した公共交通活用の推進
- (3) 情報提供機能の強化等による利用しやすい環境整備

令和2年度の取組(案)

- （再掲）萩循環まあるバスの運行ルートの検討（実証運行による観光地の2次交通としての検証）
- （再掲）萩循環まあるバスの時刻表やバス停位置情報のオープンデータ化による経路検索サービスとの連動
- 交通系ICカードの導入支援

